

下寺尾西方遺跡を構成する要素

下寺尾西方遺跡を構成する要素は、「本質的価値を構成する要素」と「本質的価値を構成する要素以外の諸要素」に分けることができる。

1 本質的価値を構成する要素

これまでの発掘調査等によって明らかにされている遺構や出土した遺物などを中心として、遺跡が立地している地形や環境などを含む。また未調査地区においても各価値を裏付ける遺構や遺物が埋蔵されていることが推測できる。

(1) 本質的価値1

南関東における弥生時代中期の環濠集落として最大級の規模を有する。

① 地下に埋蔵されている遺構

(環濠) 環濠(内側) 環濠(外側)

(集落) 竪穴建物

(その他、環濠集落に関連する遺構)

溝状遺構 土器集中 土坑

(環濠集落の歴史的空間)

環濠によって囲繞された当時の活動空間

建物間や環濠内に広がる当時の空地的空間

② 出土した主な遺物と地下に埋蔵されている遺物

環濠出土の弥生式土器、石器、鉄製品

竪穴住居建物出土の弥生土器、石器、鉄製品

③ 記録によって保存された遺構

環濠

竪穴建物

(2) 本質的価値2

相模川東岸南部における中心的な集落。

① 地下に埋蔵されている遺構

(環濠) 環濠(内側) 環濠(外側)

(集落) 竪穴建物

(その他、中期後半に属する遺構)

溝状遺構

土器集中

土坑

(環濠集落の歴史的空間)

環濠によって囲繞された当時の活動空間

建物間や環濠内に広がる当時の空地的空間

② 出土した主な遺物と地下に埋蔵されている遺物

環濠出土の弥生式土器、石器、鉄製品

竪穴建物出土の弥生土器、石器、鉄製品

③ 記録によって保存された遺構

環濠

竪穴建物

(3)本質的価値3

石器文化の終末と鉄器文化の波及を知ることができる遺跡

① 地下に埋蔵されている遺構

・生産機能に関する可能性がある遺構

竪穴建物

② 出土した主な遺物と埋蔵されている遺物

・土器 弥生時代中期後半宮ノ台式土器

・石器 石製品

(勾玉未成品 管玉 両刃石斧 扁平片刃石斧 抉入柱状片刃石斧 環状石斧
スクレイパー 礫石錘 有頭石錘 浮子 磨石・敲石 砥石 スタンプ形石器台石
磨石 磨製石鏃 加工痕のある剥片)

・鉄製品(板状鉄斧 不明鉄製品)

③ 記録によって保存された遺構

・生産機能に関する可能性がある遺構

竪穴建物

(4)本質的価値4

弥生時代中期後半における環濠集落の形成から終末に至る変遷を知ることができる。

① 地下に埋蔵されている遺構

環濠

竪穴建物

溝状遺構

土器集中

その他、中期後半に属する遺構)

② 出土した主な遺物と地下に埋蔵されている遺物

・土器 弥生時代中期後半宮ノ台式土器(壺・甕・椀・高坏)

・石器 石製品

(勾玉未成品 管玉 両刃石斧 扁平片刃石斧 抉入柱状片刃石斧 環状石斧
スクレイパー 礫石錘 有頭石錘 浮子 磨石・敲石 砥石 スタンプ形石器台石
磨石 磨製石鏃 加工痕のある剥片)

・鉄器・鉄製品(板状鉄斧 不明鉄製品)

③ 記録によって保存された遺構

環濠

土器集中

その他弥生時代中期後半に関する遺構

(5) 本質的価値5

景観を復元することができる遺跡

① 遺跡が立地する地形

- ・遺跡内や周辺に形成された歴史的環境及び景観
- ・自然地形 舌状台地及びその崖線、砂丘及び凹地、河川
- ・周辺に展開する同時期の遺跡

(6) 本質的価値6

遺跡の重層的な在り方から、環濠集落を中心とした地域の歴史的な変遷を知ることができる。

① 重層的な在り方を示す複合遺跡

複数の時代を示す包含層(縄文時代以前 弥生時代 古墳時代 古代 中近世 近現代)

各時代を示す遺構と遺物

2 本質的価値を構成する要素以外の諸要素

これまで下寺尾西方遺跡に自然的・人為的に付加された要素で、これらは「本質的価値の保存活用に関する諸要素」と「本質的価値と直接関係しない諸要素」に分けられる。

(1) 本質的価値の保存活用に関する要素

説明看板 管理施設 幼稚園

遺跡の保存活用に関する工作物・自然物

(2) 本質的価値と直接関係しない諸要素

個人住宅 会社

農業関係施設

道路・電柱・上下水道埋設管施設

遺跡の保存活用に関係しない工作物